

# 【家庭教育支援チーム】

## (1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	三戸町家庭教育支援チーム (呼称:子育て支援ネットゆりかご)
②活動拠点	三戸町総合福祉センター ふくじゅそう
③活動範囲	三戸町内、近隣町村
④組織体制	9 人 子育て支援員4人 元教員 1 名 元保育士3人 元介護士 1 人
⑤活動開始年度	平成 20 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 特定非営利活動法人子育て支援ネットゆりかご (TEL)0179-20-0070 (E-mail) <a href="mailto:yurikago3@gmail.com">yurikago3@gmail.com</a>

## (2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他( )
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

【具体的な活動内容】

●のぼたんおやこ交流の開設

親子が何度も利用したくなる温かい寄り添いの支援を大切に実施

- ① 生後2ヵ月から歩行前の子を持つ親子対象の「ひよこコース」
- ② 歩行完了から就園前の子を持つ親子対象の「パンダコース」
- ③ ①、②のどちらでも自由に利用できる「フリーday」

①、②は、子育て中の仲間との出会いの場となっており、比較的月齢の近い親子同士がお互いに情報交換をするなどの交流を図っている。わらべうた遊びや、絵本の読み聞かせなどを実施、継承。

③は、月齢や年齢の区別なく交流できる。

そのほかにも、季節の行事や製作体験、おたのしみ会、お誕生会などを開催



③活動内容



- うたってあそぼう講座(月1回)  
ピアノ講師を招き、歌やリズム遊びなど楽しむ。

- おしゃべりサロン(月1回)…コーヒーなどを用意し、ママたちがゆったりとお茶をとおしゃべりを楽しむ時間を設定。支援員が子供たちの見守りをする。主任児童委員が加わり、身近な相談相手の役割となる。

- マタニティのママ体験(おしゃべりサロンと同時開催)…妊婦さんと親子とが交流する中で、赤ちゃんに触れるプレママ体験や先輩ママから体験談を聞くなどし、今後の出産や育児の不安軽減につながる。

- のぼたん健康・栄養相談(年4回)  
町の保健師・栄養士に広場へ出向いてもらい相談対応の機会を設けている。身長・体重の計測や、発達、栄養に関する悩みを相談でき、専門職のサポートと支援員の日常的なサポートを利用することで安心な子育てへつながる。



- のぼたん通信の発行(月1回)…子育てに関する情報提供、広場の行事カレンダー等のお知らせ、近隣町村での講座や行事のお知らせなどを掲載。

- 育ち力支援講座

1. 「人形劇鑑賞」(年1回)…町内の施設にて、プロの人形劇団を招き開催。豊かな文化・芸術に触れ、想像力豊かな体験をする良い機会となっている。



2. 「みんなの体験広場」(年2回)…拠点施設以外の場所で各種体験コーナーを設け開催。  
身近な場所での遊び場と、地域交流の場の提供。また、仲間づくりやリフレッシュ、元気になれる場を提供する。



- ママの為のスキルアップ講座  
(年 1~2回)…育児から離れ、  
自分の時間を作ることで心身  
共にリフレッシュし、ゆとりある  
子育てをするための支援講  
座。スタッフが見守り託児をし  
てできるだけママ自身の時間  
を持ってもらう。



- 「木のおもちゃ体験広場」…(月  
1回)平日広場に来られない親  
子のため、月に一度土曜または  
日曜に、同じ施設内の他の部屋  
を会場にして、良質な木製おも  
ちゃに触れてもらう機会を設け  
ている。

- 小学生の放課後の居場所「ほっとステーション」開設

異年齢との交流や遊びを通して、『自分を大切にし、また相手を大切にできる思いやりの心を育む』ことを目的とした、安全・安心な心休まる居場所を開設。学童保育とは違い、大人数の場所が苦手な子供などが利用している。

- 地元の小学校からの依頼で「けりこま大会」の運営補助。

小学校3年生の立志科の授業で実施し、小学校とのつながりが持てる良い機会になっている。



- 保育講座の開催

年1回、幼児施設や児童館等職員、保健師、看護師、介護士、保護者を対象に、現場の課題をテーマに取り上げ、専門の講師を招いて研修の機会をつくり、関係機関との連携をはかる。3年継続。

<p><b>④活動の成果</b> (活動実績がある 場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●親子の広場「のぼたん広場」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に親子で集まり、仲間づくりができる場所として、15年間継続している。他市町村から転入してきた方からは特に、同じ世代の仲間ができてうれしいとの声が多く聞かれる。子育ての悩みや情報などを共有することで、疎外感の解消などにつながる場となっている。</li> </ul> </li>   <li>●小学生の居場所づくり「ほっとステーション」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大人数が苦手、人間関係にトラブルがあったなどで、少人数で過ごすことができる居場所を必要とする児童のために開設。学年が異なる児童同士がそれぞれ尊重しあい、またその子らしさを表現することを大切に寄り添う支援を実施。利用児童は、支援員や利用している友達と話をすることで、心が落ち着き、安心して過ごすことができ、子供の大切な居場所となっているとのことで、利用児童の保護者からは継続を希望する声が多い。</li> </ul> </li>   <li>●各種講座や体験広場等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な場所での遊び場やさまざまな体験を提供し、子供たちの興味や関心、好奇心を広げることで、子供たちの健全な成長に寄与している。また、地域交流や仲間づくり、リフレッシュの場としての役割にもなっており、子育て世代が孤立しないよう支援員がサポートすることで、育児の不安軽減、安心な子育てへとつながっている。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>⑤活動財源</b> (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名: )</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名: 地域子育て支援拠点事業)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施</p> <p>( )</p>